

元気

まち物語

2013.5



豊田どんぐりの会

豊田生涯学習センター横の小道を上がると、にぎやかな子どもたちの声が聞こえてきました。西市こども園子育て支援センターで元気いっぱい交流している、「豊田どんぐりの会」の親子の皆さんです。

参加しやすいように予約不要

同会は10年以上前から活動しているお母さんたちの子育てサークルです。未就園児の親子を対象に、月に1回、西市こども園子育て支援センターに集まります。豊田町は、近所に同世代の子どもがいない家庭が多く、子どもが集団生活を学ぶ場として、親子でレクリエーションを楽しむことを目的に活動しています。子育ての悩みを相談するなど、母親同士の情報交換の場にもなっています。

現在、会に登録しているのは約20家族。自然に触れ合う遊びや工

作の他、絵本の読み聞かせやナン狩りなどのイベントも開催します。

活動に参加しやすいように配慮されている特徴の一つが、予約なしで会に参加できるという点。「子どもがぐずったり、気分が向かなくなったりすると、急に参加できなくなりますが、予約制では中々来やすいようにしているのです」と、代表の篠田久美枝さんと小野ゆかりさんが話してくれました。

「コープやまぐち組合員賞」受賞!

コープやまぐち主催の「第7回女性いきいき大賞」という、住みやすい地域社会のために活動している女性中心の団体に贈る賞があります。このたび、豊田どんぐりの会が見事、その中の「コープやまぐち組合員賞」に輝きました。

「少子化の進む町で、自らが運営する育児サークルを通し、未就園児や母親同士の交流を深め、楽しく友だちづくりの取り組みを進めてきた」ことが評価されての受賞となりました。これを励みに、豊田町の子育てネットワークはさらに強いものになることでしょう。

親子でのびのび活動中☆

取材したこの日は、保育園・幼稚園に上がる子どもたちの「お別れ会」。「幼稚園の前に集団生活をするのは、子どもたちのためになる」と、お母さんたちはうれしそう。ここでは、子どもたちが伸び伸びと遊び、時にはけんかをすることも。でも、兄妹がいない子どもにとっては「けんかもとてもいい経験」と篠田さん。

「準備が大変なこともあるが、子どもたちの楽しそうな顔を見つ、母親同士でゆっくり話ができるので、今後も楽しく続けてもらいたい」と、前代表の重村智子さん。「子育て世代が少ないからこそ、この集まりを大切にしたい」という思いを胸に、豊田町を盛り上げていくことでしょう。

- ①コープやまぐち組合員賞を受賞しました! 重村さん(左)、小野さん(中央)、篠田さん(右)。
- ②お母さんと一緒のおやつタイムでうれしそうなおどもたち。
- ③こちらのおやつタイムは友達同士で。兄妹みたいに仲良し!
- ④会のメンバー。子どもたちは、外で元気に遊んでいました。

